

令和3年度

新発田市社会福祉協議会事業報告書

社会福祉法人 新発田市社会福祉協議会

令和3年度事業報告書

令和3年度においては、昨年度から引き続き新型コロナウイルスの感染拡大を受け事業実施については制約を受けましたが、市民の生活を支える援護事業（緊急小口特例貸付等）や高齢者、障がい者等に係る事業についてはコロナ過においても、感染予防を行いながら継続してきました。

また令和4年1月に新発田市社会福祉協議会は創立70周年を迎え、コロナ過であっても地域活動がより活性化することを目的に、多くの団体などから参画・協力をいただき動画を制作し、幅広い年代の市民へ社会福祉協議会及びボランティア活動の周知を行いました。

作成した動画については、ふくしの集い（ボランティアフェスティバルと地域みまもり隊の集いと同時開催）において上映するとともに、より多くの市民の皆様に見聴して頂くようYoutubeやホームページでの公開や、ボランティアセンターのロビーでも上映し、多くの方から見聴いただいています。

動画の作成に参画・参加された協力団体からは、新たな試みである動画作成の企画に対して予想を超える反響をいただきました。

コロナ過においても、感染予防対策をとり、参加する皆様からも協力をいただきながら計画した事業についてはおおむね実施することができました。

概要

当協議会の5つの基本理念（市民ニーズ基本の原則・市民活動主体の原則・民間性の原則・公私協働の原則・専門性の原則）に基づき、令和3年度重点事項として取り組んだ5項目の内容について報告いたします。

① 少子高齢化や障がい者に対応した地域での支え合いづくり

見守り・支え合い推進事業

コロナ禍で活動が制限される中、日常生活の中で行える見守り活動については引き続きそれぞれのできる範囲での活動が継続されました。

ふくし出前講座事業

小学校及び中学校の校長会や、自治会・町内会等に福祉教育に関する周知に努めた結果、福祉関係機関と連携し、学校や地域での福祉に触れる機会を増やすことができました。

放課後等デイサービス事業

複合型福祉施設“ほのぼの家族”において、障がい児が放課後や夏休みなどの長期休暇時に安心して過ごすことのできる場を提供しました。

ボランティア活動推進事業

ボランティア連絡協議会の事務局を担うとともに、様々なボランティアへのニーズに対応するため、相談対応や各種講座等を開催しましたが、令和3年度においては大きく活動を制限されましたが、「ボランティアフェスティバル」「ふくしの集い」等大規模イベントについては、開催方法を見直し、市内で活動するボランティア団体等の活動紹介の動画を作成し、ふくしの集いの中で上映会を行い、お互いの活動を共有する場としました。

また、手話体験講座をはじめとした初心者向けボランティア講座については感染対策を充分に行いながら実施することができました。

② 健やかな子育てと若者世代への支援

福祉教育推進事業（ふれ愛ワークキャンプ・Summer 倶楽部ふくし）

【ふれ愛DAYキャンプ】

従来の1泊2日のキャンプを1日の体験とし、自然体験や障がい者スポーツの体験をとおして福祉への関心を育てる学びの場として実施しました。

【Summer 倶楽部ふくし】

中学生・高校生・専門学校生・大学生を対象に、講座や体験活動を通じて地域共生社会について自らが主体となって学び・考え・行動する中で、地域社会への理解と関心を高めることを目的に実施しました。

若者自立支援事業

様々な理由から生きづらさを抱える若者が、安心して「想い」や「情報」を共有し不安の解消や、社会につながるための第一歩となる居場所の運営を行いました。また、その親の不安解消や親同士の交流等を目的に親のサロンも併せて開催し、総合的な不安の解消につとめました。

子育て支援センター（ベビープログラム、・出張ほのぼの家族）

複合型福祉施設“ほのぼの家族”において、子育て支援センターを開設し、子育て中の家族の支援としてプレイルームの開設や一時預かり、保育士による育児相談等行いました。

利用人数を宣言するなど予防措置と行いながら事業を継続し、初めて母親になる方の悩みの解消や孤立の解消等を目的とした「BP」事業についても年3回実施しました。

③ 住民主体による健康増進や介護予防活動の推進

ふれあい・いきいきサロン事業

在宅高齢者の社会的孤立の解消や生きがいづくり、閉じこもり防止、健康の維持向上等を図ることを目的に、地域のボランティアが主体となって行うサロン活動について、設立や活動維持の支援を行いました。また、市の行う介護予防事業「ときめき週1クラブ」についても連携して高齢者の健康の維持向上に努めました。

新型コロナウイルスの感染拡大によりサロン活動も思うようにできない中、感染予防の注意喚起資料等を配布するなど行った。

中央地域包括支援センター運営事業

認知症サポーター養成講座を実施し、294名を養成し認知症の理解・介護予防を啓発しました。また見守り登録からの地域ケア個別会議2回開催、圏域内で見守り声掛け訓練の実施、地域の集会に参加し、あんしんハンドブックの説明と書き方レクチャーなどを実施しました。地域の支えあいの仕組み作り、担い手の発掘のため市と協働し、高齢者大学でおたがい様講座を開催しました。その人らしい生活が実現できるよう自立支援を目的にセルフケアの定着に向けて個別性のあるケアプラン作成に努め、圏域の居宅介護支援事業所にも助言指導を実施しました。

令和4年度からの圏域の変更に対しては、相談支援中の方に不便の無いよう丁寧な引継ぎに心がけました。

介護保険事業

生活機能の維持・向上を図るため、運動機能向上や認知機能低下予防など本人、家族、担当ケアマネジャーと連携して計画を作成し、常にその人らしい自立支援に着目したサービスに取り組みました。新型コロナ感染症対策を徹底し、安全にサービス提供ができるよう努めました。

④ 地域での防災・防犯力の強化や避難行動要支援者への支援

災害に備えた体制整備

令和3年度においても新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、地域の総会等が中止となる中、避難行動要支援者個別支援計画の作成や避難所運営委員会の設置に向けて地域支援を行いました。

⑤ 利用者のニーズに応じた福祉サービスの量と質の確保

総合相談事業

社会福祉士を中心とした地区担当制を構築し、あらゆる生活課題の支援に向けての相談を受け付けました。また、市内17地区に対して引き続き担当職員を配置し、地域からの相談の窓口とし、地域ニーズを的確に把握し支援を行いました。

また、空家予防事業による「暮らしと住まいのふくし相談会」を2回開催し、個々の不安の解消に努めました。

成年後見支援事業

相談窓口（成年後見センター）を設置し、一般の相談を受け付けるとともに、地域や企業からの要請による勉強会や、包括支援センター等関係機関との連携を行いながら制度の周知、活用に努めました。

孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業

平成30年度から中央共同募金会の助成を受けて、高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

3年間の助成期間が終了し令和3年度からはこれまでの調査・協議から見えてきた課題を解決するための事業をスタートするとともに、既存事業を見直し孤立の予防と解消について包括的に取り組みました。

次に主な事業の実績について報告いたします。

※以後ページ数のみ記載

1 法人運営事業

〈資料2 令和3年度決算資金収支明細書 P1に掲載〉

市並びに関係各機関との連携のもと、民間福祉活動の重要性について市民の理解を深め、市民ニーズに適応した社協活動の推進と関連団体等の活動支援に努めました。

(1) 理事会、監事会及び評議員会の開催（会場 ボランティアセンター）

本会の組織、事業、財政等の適正な運営を図り、総合的な企画や調整等を行うため、理事会、監事会及び評議員会を開催しました。

また、コロナ過においても理事の皆様から会議に参加いただき、本法人の運営について協議いただくため、第4回理事会についてはWebでの参加を併用して実施しました。

● 理事会 4回開催

第1回	令和3年	5月28日（金）
第2回	令和3年	6月15日（火）
第3回	令和3年	11月26日（金）
第4回	令和4年	3月16日（水）（Web会議併用）

- 評議員会 3回開催
 - 第1回 令和3年 6月15日(火)
 - 第2回 令和3年 12月8日(水)
 - 第3回 令和4年 3月23日(水)
- 評議員選任委員会
 - 令和3年 6月9日(水)

(2) 新発田市社会福祉協議会会員の拡充と会費の確保

社会福祉協議会・社会福祉協議会の行っている福祉事業等に対する市民の理解を深めるため、自治会の総会や、事業等で地域に出向いた際に会費を活用した地域活動助成について説明等行ってきましたが、令和2年度から新型コロナウイルスの感染拡大により、協力依頼の時期が変更になったことや、経済活動や行動の自粛等により減少した世帯数については持ち直しましたが、会費については経済活動の減退等から昨年引き続き減少となっています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
加入世帯(世帯)	29,392	24,953	29,881
会費(円)	8,574,878	8,411,430	8,364,923

(3) 職員研修の充実

職員の専門知識・技術を高めるため、職員研修の充実に努めました。
 ※本資料 38 ページ「令和3年度職員研修会等参加状況」を参照

2 総合的事業

(1) 地区福祉活動計画事業 < P 4 >

2期計画の推進に向けて引き続き地域との顔の見える関係を大切にしながら、それぞれの地区の実情に合わせた活動を行いました。

令和3年度においては、各地区とも新型コロナウイルスの感染予防から懇談会等の開催が自粛となりましたが、地域の役員等と連絡を取りながら地域課題の把握に努めました。

- ①地区担当職員を引き続き配置しました。
- ②社協会費を原資とした支援制度を実施し、各地区の計画推進を支援しました。
 助成地区15地区 1,300,000円
- ③地区懇談会の開催 開催 1地区 1回(五十公野地区)
- ④各地域包括支援センターが取り組む「地域ケア会議」に3回参加し、地域課題の解決に向けた支援をおこないました。

※毎年実施している地区福祉活動計画推進連絡会議については令和2年度に続き令和3年度においても新型コロナウイルスの感染拡大を予防するため中止としました。

(2) 孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業 (P26)

高齢者の社会的孤立の予防・解消を目指し、社会的孤立からそれまで住んでいた住居が空家に至る過程を連続的にとらえ、つながりの再構築から終末期であってもその人の尊厳が守られたくらしの実現を目指し各種士業団体、医療関係、建築関係、ふくしの関係機関や団体、そして行政等によるネットワークを構築し協議及び検討を行いました。

主な実施事業

○「暮らし」と「住まい」のふくし相談会について

開催数：2回

開催場所：新発田市ボランティアセンター

① 令和3年5月30日の実績

相談件数：16件

相談者数：23名

相談延べ数：36件 ※相談1件で複数の内容あり

② 令和4年3月27日の申込状況

申込件数：21件

相談者数：26名

相談延べ数：51件 ※相談1件で複数の内容あり

○セカンドライフ応援講座について 6講座（各講座定員30名）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者（講座回数）	619人（11回）	241人（8回）	148人（6回）

①「おわり」の準備は「はじまり」～在宅医療と私の人生ノート～

日時：令和4年11月30日（受講者22人）

講師：新発田地域医療介護連携センター副センター長 平野真弓様

②空き家対策と空家バンク～予防として出来ること、空き家の利活用講座

日時：令和4年10月15日（受講者数19人）

講師：宅地建物取引業協会 新発田支部長 石井政治様
新発田市建築課空家・住宅対策係

③今から始める生前整理～ごみの出し方イ・ロ・ハ～

日時：令和4年10月19日（受講者数30人）

講師：新発田市環境衛生課資源リサイクル係

④自分の「これから」講座～任意後見・成年後見制度～（受講者数18人）

日時：令和4年11月2日

講師：新発田公証役場 公証人 今間三郎様

⑤スムーズなバトンの渡し方～相続事例から学ぶ～（受講者数26人）

日時：令和4年11月19日

講師：新発田中央法律事務所 弁護士 吉村一洋様

⑥こころに寄り添い気持ちで聴く～技術を身につけ家族円満～（受講者数33人）

日時：令和4年11月22日

講師：（一社）日本傾聴能直開発協会代表理事 岩松正史様

○生きづらさを抱える若者向け「ふれ就活応援講座」

	令和2年度		令和3年度	
	前期	後期	前期	後期
受講者（講座回数）	86人（7回）	82人（7回）	68人（6回）	※中止

前期6講座（各講座定員10名）

①新発田市における若者支援の現状とその利用を知ろう！

日 時：令和3年6月21日（月）10:00～11:00

会 場：新発田市ボランティアセンター

講 師：新発田市社会福祉課生活支援係 主任 円山 理絵 様

②日頃の運動不足を解消！ピラティス&コンディショニングで健康に♪

日 時：令和3年6月25日（金）14:00～15:30

会 場：新発田市ボランティアセンター

講 師：スタジオENO 健康運動指導士 榎本 暢子 様

③ココロもカラダもリラックス♪”キッコリータウン”で自然体験！

日 時：令和3年7月7日（金）10:00～11:30 ※雨天延期

令和3年7月21日（水）13:30～15:30

会 場：キッコリータウン

講 師：エコビレッジシエルタープロジェクト 様

④すべての仕事には価値がある！第1弾やってみよう！ベツトメイクの基礎体験

日 時：令和3年7月14日（水）10:00～12:00

会 場：白鳥の宿ますがた荘

講 師：新発田旅館組合「白鳥の宿ますがた荘」組合長 水野 貴英 様

⑤すべての仕事には価値がある！第2弾 介護のプロから学ぶ仕事体験

日 時：令和3年7月19日（月）13:30～15:00

会 場：新発田市ボランティアセンター

講 師：公益社団法人新潟県介護福祉士会 石山 裕江 様

⑥就活前に整えておきたい“いろは”～前期講座のまとめ～

日 時：令和3年7月27日（火）10:00～11:00

会 場：新発田市ボランティアセンター

講 師：新発田市社会福祉協議会

※後期6講座（各講座定員10名）についてはコロナウィルス感染拡大により開催は中止しました。

○あんしんパック事業

①『私の人生ノート事業』

人生の最期をどのように過ごしていきたいのか、その意思を表明するツールとして令和元年度に作成した「私の人生ノート～あんしんハンドブック～」を活用し、終末期医療（延命治療の可否）のあり方を問う「リビングウィル」や遺言、生前整理、社会関係、介護、所有資産などのエンド・オブ・ライフプランの普及啓発、個別支援及び相談支援を行う。

頒布価格 1,000円（税込み）

②『STOP 特殊詐欺!! あんしん貸出事業』

悪質な電話による詐欺被害を未然に防ぐことを目的に、現在使用している電話機を活用して「通話録音メッセージの自動アナウンス」「通話録音」「緊急連絡ボタン」などの機能がある機器を有料で貸し出します。

③『緊急時あんしんお出かけ準備事業』

- 緊急時あんしん準備リストを無料で配布する（HP でダウンロード可能）
- 緊急あんしんバッグ（あんしんサポート含む）
 - ・【防水】リュック型 20L（円柱タイプ） 2,000 円（税込）
 - ・【難燃・防水】リュック型 22L（角型・全開タイプ） 4,000 円（税込）

※本事業専用の「緊急あんしんバッグ」の購入者には希望確認を行い、あんしんサポートとして、緊急時あんしん準備リストに基づいた「あんしん代行（買い物支援）」、電話で月 1 回の「あんしんコール（安否確認）」年 1 回の「あんしん訪問（バックの中身の確認と更新）」を行います。

○利用者一元管理システムの導入

あんしんパック事業をはじめ地域福祉課で行う個別支援事業の利用者の情報を一元的に管理することで、1 回の相談で複数の支援に繋ぐことがよりスピーディーに行うことができる。

（3）広報活動の推進 〈 P 65 〉

市民に社会福祉協議会や福祉関係の最新の情報を提供するため、広報紙「しばた社協だより」（ボランティアだよりも併載）を中心に、社協独自のホームページ等を通じ広報に努めました。

- 「しばた社協だより」 毎月 15 日定期発行 計 12 回 （全世帯に配布）

（4）援護事業 〈 P 29 〉

多様化する社会情勢の中、要保護世帯のニーズに対応するため民生委員児童委員の協力を得て、次の事業を行いました。

- 生活福祉資金貸付事業（県社協の委託事業）
- 小口資金の貸付事業（自主事業） 〈 P30 〉

貸付件数等

	令和元年度		令和 2 年度		令和 3 年度	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
生活福祉資金貸付事業	2	400,000	11	5,149,000	3	553,000
小口資金貸付事業	71	1,645,000	78	1,917,500	105	2,721,000

- 生活福祉資金特例貸付事業（県社会福祉協議会の委託事業）

新型コロナウイルスの影響を受けて、収入の減少や失業等により生活に困窮し、日常生活の維持が困難となっている世帯等を対象とする生活福祉資金貸付事業（緊急小口資金及び総合支援資金）を行いました。

○緊急小口資金特例貸付 貸付件数 127 件 貸付総額 17,250,000 円	○総合支援資金特例貸付 貸付件数 117 件 貸付総額 57,600,000 円
------------------------------------------------	------------------------------------------------

(5) ボランティアセンターの管理運営 < P 130 >

ボランティアセンターを拠点に、市民各層が自主的で継続的なボランティア活動が可能となるよう、ボランティアセンターの効率的な利用を図るとともに、講習会や研修会を開催し、市民各層が幅広いボランティア活動に取り組まれるように努めました。

ボランティアセンターの利用状況

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
午前の利用者	10,705人	9,659人	10,421人
午後の利用者	15,304人	9,233人	9,173人
夜間の利用者	3,824人	2,902人	3,199人
総合学習による利用	171人	36人	53人
計	30,004人	21,830人	22,846人

(6) 生活困窮者就労準備支援事業 < P18 >

市の委託を受けて「生活困窮者就労準備支援事業」を実施し、さまざまな理由から就労に就くことが困難な方の就労準備についての支援を行いました。

令和3年度においては利用者が24名、このうち終了が11人となりました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	12人	14人	24人
新規利用者数	9人	7人	14人
終了者数	5人	4人	11人

【セミナー・研修会・説明会】

①令和3年度若者支援セミナー

※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

日時：令和4年2月6日 13時30分～

会場：新発田市生涯学習センター講堂

内容：トークセッション

演題「ひきこもりの真実を語る！

～認識のズレから生まれる生きづらさの正体とは～」

聞き手 新潟大学歯学部口腔生命福祉学科

准教授 中村 健 様

話し手 NPO 法人 KHJ にいがた「秋桜の会」

代表理事 村山 賢 様

話し手 NPO 法人新潟ねっと

代表 中谷 信哉 様

ひきこもり経験者 計2名

話し手 新潟市西蒲区社会福祉協議会

福主査 古田島 洸 様

ひきこもり経験者 計2名

話し手 下越地域若者サポートステーション

総括コーディネーター 齋藤 洋 様

ひきこもり経験者 計2名

②不登校・ひきこもりを考えるセミナー

※新型コロナウイルス感染症の拡大により中止

日時：令和4年2月23日 13時30分～

会場：新発田市ボランティアセンター 内容：

【第1部】講和

演題 「立ち止まるキミへのメッセージ

～ありのままで大丈夫キミらしさを大切に！～」

講師 新潟県子どもの発達と不登校の会「アーベルの会」

代表 西 伸之

【第2部】トークセッション

聞き手 新潟県子どもの発達と不登校の会「アーベルの会」

代表 西 伸之

話して Sunny Smile

不登校親の会 代表

【その他】

- ・若者交流会 (緊急事態宣言を受けて中止6回)
開催数 18回／参加者数 273名
- ・親のサロン (緊急事態宣言を受けて中止2回)
開催数 4回／参加者数 17名
- ・ボランティア活動
参加回数 573回

(7) 日常生活自立支援事業 〈 P9 〉

認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者等で判断能力が不十分な方々に自立した地域生活が送られるよう福祉サービス利用援助、日常的金銭管理、書類の預かりなどの援助を行いました。

相談件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
相談件数	818件	1,368件	1,857件

総契約件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総契約件数	28件	32件	29件

(8) 成年後見支援事業 〈 P22 〉

成年後見センターの運営

市の委託を受けて「成年後見センター」を運営し、市民の方や関係機関に向けて相談支援を行い、併せて制度に関する普及啓発のため研修会や出前講座、広報の発行を行いました。

相談件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
新規相談件数	105件	134	117
継続支援件数	747件	535	453

- ・新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会（2回実施）
- ・出前講座（5回実施 延べ193名参加）
- ・セカンドライフ応援講座「未来の約束セミナー ～公正証書がその約束守りますから」（12月23日開催 45名参加）講師：新発田公証役場 公証人 今間 三郎 氏
- ・成年後見セミナーの実施（45名参加）
令和3年度成年後見セミナーinしばた（令和3年12月23日開催）
講師：新発田公証役場 公証人 今間 三郎 氏
- ・法律相談会 ※ 緊急事態宣言の発出に伴い中止
相談員：新発田中央法律事務所 弁護士 吉村 一洋 氏
- ・運営委員会の開催
後見人等の受任適否を諮るため、運営委員5名を選任し、必要に応じて「運営委員会」を開催した。
＜第1回＞日 時：令和3年8月20日（金）15：00～16：00
＜第2回＞日 時：令和4年2月22日（火）16：00～17：00
- ・市民後見人養成研修
「基礎・実務研修」
・期 日：令和3年10月5日（火）～12月22日（水）全13日
・会 場：ボランティアセンター・カルチャーセンター

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者（参加者）	-	12名	12名

※研修終了者のうち、法人後見支援員の登録 7名

法人後見事業

平成28年10月に家庭裁判所に法人後見人等の名簿登録を行い、法人として後見業務ができる体制を整備し、継続的・組織的な支援を必要とする方の相談対応・受任をおこないました。

審査・受任件数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
法人後見運営委員会審査件数	3件	2件	2件
受任件数	10件	10件	8件
終了	1件	2件	3件

（9）産学官民連携地域型「中間支援組織」の構築事業

市が進める「産学官民連携地域型中間支援組織」の構築事業については、地域住民の目線に立ちながら、そこに住む人たちが住み慣れた地域で安心して暮らしていけるように、協力してきました。

- ・総 会 日 時：令和3年4月28日（水）10：00～

会 場：イクネスしばた 多目的室1

- ・理事会・幹事会合同会議

第1回会議 書面決議（4月）

第2回会議 日 時：令和3年12月24日（金）10：00～

会 場：健康長寿アクティブ交流センター 屋内広場

(10) ふくし教育の推進 < P74 >

令和3年度は年度当初に小学校及び中学校の校長会に福祉教育に関する資料（メニュー）を提出し、社協で行う福祉教育の周知に努めました。

● 「ふくし出前講座」への講師派遣回数

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
小学校	49	41	45
中学校	11	3	6
高校、大学	2	2	3
地域	26	4	6
その他	10	7	11
合計	98	57	71

● ふれ愛ワークキャンプ

・対象：小学4・5・6年生、中学生

・期 日：令和3年8月3日・8月19日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者	13人	—	42人

● Summer 倶楽部ふくし

・対象：中学生・高校生・専門学校生・短大生・大学生

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者	82人	27	38人

・楽しい手話教室（参加者 6人）

期 日：令和3年8月6日

場 所：ボランティアセンター

・子育てサロン（参加者 4人）

期 日：令和3年8月11日

場 所：ボランティアセンター

・新発田まち歩き（参加者 10人）

期 日：令和3年8月17日

場 所：新発田城、清水園、足軽長屋

・障がい者スポーツ体験（参加者 10人）

期 日：令和3年8月26日

場 所：カルチャーセンター

・ボランティア交流会（参加者 8人）

期 日：令和3年8月30日

場 所：ボランティアセンター(オンライン含む)

(1 1) 「ふくしの集い」開催事業 〈 P 2 〉

- ・期 日：令和4年3月26日（土）
- ・会 場：新発田市民文化会館 大ホール
- ・備 考：「ボランティアフェスティバル」「地域みまもり隊の集い」と併催

(1 2) 表彰事業 〈 P 2 〉

従来の菅原ボランティア基金助成及び小嶋福祉賞基金顕彰においては、運用益を活用しながら事業を行ってきたが、金利の低迷により、運用益が見込めなくなったことから、当協議会が行う他の表彰事業と一体化し、功労のある方を表彰しました。

- ・日 時：令和4年3月26日（土） 13：00～
- ・会 場：新発田市民文化会館 大ホール
- ・表彰者：民生委員児童委員功勞 1名
社会福祉事業・ボランティア活動功勞 個人14名 ・ 団体2団体

(1 3) 災害に備えた体制整備 〈 P 12 〉

● 災害ボランティア養成研修会の開催

災害ボランティア活動は、ますます社会的期待が高まっています。そうしたことから、災害ボランティアの果たす役割や活動について理解を深め、防災意識の高揚をはかり、安心・安全のまちづくりに積極的に参加していただくことを目的として各種研修会を開催しました。

① 災害ボランティアセンター設置訓練（新発田市総合防災訓練）

- ・日 時：令和3年10月3日（日）8：30～12：00
- ・会 場：新発田市立東中学校
- ・参加者：訓練 21人 / 一般来場者175人

② 「地域とつくる防災フォーラム」（災害ボランティア講座 初級編）

- ・日 時：令和3年8月28日（日）13：30～15：30
- ・会 場：新発田市生涯学習センター 講堂
- ・講 師：NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者	124人	113人	125人

③ 災害ボランティアセンター模擬訓練 ～災害ボランティア講座 初・中級編～

- ・期 日：令和3年12月19日（日）
- ・会 場：ボランティアセンター
- ・講 師：NPO 法人にいがた災害ボランティアネットワーク理事長 李 仁鉄 氏

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者（参加者）	41人	20人	33人

④ 災害ボランティア連絡会議 ～災害ボランティア講座 上級編～

- ・期 日：令和3年10月3日（日）
- ・会 場：ボランティアセンター

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者（参加者）	41人	20人	17人

- 除雪ボランティア活動

今年度の除雪ボランティア活動については、「生活応援団」の活動として、一人暮らし高齢者や障がいのある方で自力での除雪が困難な方々へ、生活通路の除雪活動を行いました。

災害級の降雪時には、雪害ボランティアセンターを設置して対応する準備も行いました。

生活応援団 除雪活動 期 間：令和3年12月～令和4年2月

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象世帯	8世帯	51世帯	45世帯
活動件数	11件	36件	26件
活動延べ人数	11人	72人	26人
ボランティア登録数	93人	99人	107人

(14) マイクロバス（ボランティア号）運行事業 〈P 68〉

マイクロバスを運行し、ボランティア活動や地域福祉活動の円滑な推進に務めました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運行回数	130回	46回	52回

(15) 県共同募金会新発田市共同募金委員会事務局の運営

- 新潟県共同募金会新発田市共同募金委員会の事務局を担当し、市民の理解と募金委員・募金協力委員・福祉関係者等の協力を得て、連帯感の高揚と募金活動の円滑な推進と拡充を図り、共同募金の実績増を図りました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
一般募金	14,186,330円	13,679,481円	13,678,087円

A 配分額 5,725,838円(令和4年度事業費として新潟県全体の福祉に活用されます。)

B 配分額 8,917,915円(令和4年度事業費として市内の地域福祉推進に活用されます。)

災害世帯へ県共同募金会からの見舞い金等お届けしました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
見舞金	0世帯 0円	1世帯 10,000円	1世帯 10,000円
弔慰金	0件 0円	0件 0円	0件 0円

- 福祉団体支援

高齢者や障がい者等各種福祉団体活動の活性化を目的に助成しました。

助 成 先	助成金額(円)
新発田市老人クラブ連合会への助成	450,000
身体障害者団体連合会への助成	100,000
民生委員児童委員連合会助成	300,000
地区民生委員協議会助成	10地区 555,000
自治会連合会への助成	500,000

- 地域支え合い活動支援事業公募型助成

地域の福祉を支える様々なボランティア活動や市民活動団体を支援し、市民参加による福祉のまちづくりを進めるため、公募により下記団体に助成しました。

団 体 名	助成金額（円）
下町区	134,000
橋本自治会	99,000
上荒沢自治会	46,000
動木橋区	55,000
しばた IRORI の会	131,000
五十公野地区避難所運営委員会	150,000
ボランティア しゃべる	98,000

（16）新発田市民生委員児童委員連合会事務局の運営

市民生委員児童委員連合会の事務局を担当し、会の活動を推進するとともに地域福祉・在宅福祉活動の推進に努めました。

- 民生委員児童委員の資質向上と適切な援助活動を推進するため、研修会と視察研修を行い、活動の推進に努めました。
- 毎月役員会及び、理事会を開催し関係機関との連携を図りました。
- 活動の活発化を図るため、企画部・児童部の活動推進に努めました。

（17）日本赤十字社新潟県支部新発田市地区事務局の運営

日赤新発田市地区の事務局を担当し、赤十字の「人道」・「博愛」の精神を尊重し、その活動と精神が常に生かされるよう市民に啓発するとともに、赤十字の活動財源である協力金の増強に努めました。

- 市民を対象とした救急教室の開催。また、日赤安全奉仕団・日赤奉仕団が防災訓練・福祉施設での奉仕作業等の活動を積極的に展開されるよう努めました。

- 日赤協力金収納実績

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
日赤社費・協力金収納実績	10,197,709 円	10,363,985 円	9,977,367 円

- 災害世帯へ見舞金をお届けしました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
災害見舞金	0 世帯 0 円	1 世帯 10,000 円	4 世帯 40,000 円
弔慰金	—	—	—

- 救急員養成講習

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者	10人	—	—

- 基礎（AED）講習会

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
参加者	0人	—	—

（18）新発田市ボランティア連絡協議会事務局の運営

- ボランティア連絡協議会

（ア）総 会

- ・期 日：令和3年5月19日（水）
- ・会 場：新発田市ボランティアセンター
- ※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止 書面決議

（イ）研修視察

※新型コロナウイルス感染症予防対策の為中止

3 介護保険事業

（1）居宅介護支援事業 〈 P138 〉

介護保険法に基づき、居宅サービス計画（ケアプラン）を作成し、居宅サービスの提供が確保されるよう努めました

- しばた社協居宅介護支援センター

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
給付管理件数	2,539件	2,435件	2,180件
介護予防ケアプラン 作成件数	544件	457件	342件

（2）通所介護事業（デイサービス事業） 〈 P86 〉

介護保険法に基づき、日常生活上の世話及び機能訓練を行い、社会的孤立感の解消、心身の機能維持、家族の身体的・精神的負担の軽減に努めました。

- 新発田北デイサービスセンター 〈 P86 〉

- （ア）受 入 日 数 363日
- （イ）延利用者数 7,286人 （一日平均20.1人）
- （ウ）定員数 31人

- 加治川デイサービスセンター 〈 P99 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 8, 4 2 1 人 (一日平均 2 3. 2 人)
 - (ウ) 定員数 3 5 人

- 豊浦デイサービスセンター 〈 P94 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 6, 3 7 2 人 (一日平均 1 7. 6 人)
 - (ウ) 定員数 2 7 人

- 新発田南デイサービスセンター 〈 P90 〉
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 7, 7 0 3 人 (一日平均 2 1. 2 人)
 - (ウ) 高齢者、障がい者を合わせた定員数 3 5 人
 - ・身体障がい者
 - (ア) 受 入 日 数 3 6 3 日
 - (イ) 延利用者数 7 4 1 人 (一日平均 2. 0 人)

(3) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス事業） 〈 P103 〉

介護保険法に基づき、自立した日常生活を営むことができるよう、入浴、排泄、食事の介護、その他生活全般にわたる援助を目的とし、事業展開に努めました。また、障がい者で生活支援を必要とする家庭を訪問し必要なサービスに努めました。

- 新発田市社協訪問介護事業所

訪問介護 派遣延回数	1, 2 8 0 回
介護予防訪問介護 派遣延回数	1, 4 0 9 回

4 **ボランティア活動の推進**

ともに助け合い「ともに生きる」力と豊かさを育むため、ボランティア活動に対する市民の関心を高め、多くの市民による積極的な活動への参加を促し、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会の形成に向けた取り組みを推進しました。

(1) ボランティア活動の推進 〈 P12 〉

ともに助け合い「ともに生きる」力と豊かさを育むため、ボランティア活動に対する市民の関心を高め、多くの市民による積極的な活動への参加を促し、だれもが安全で安心して暮らせる地域社会の形成に向けた取り組みを推進しました。

1 ボランティアに関する講座及びセミナー等の開催

①災害ボランティアセンター設置訓練～新発田市総合防災訓練～

日 時：令和3年10月3日（日）8時30分～12時00分

会 場：新発田市立東中学校

参加者：訓練 21 名 / 一般来場者 175 名

②地域とつくる防災フォーラム～災害ボランティア講座 初級編～

日 時：令和3年8月28日（日） 13時30分～15時30分

会 場：新発田市生涯学習センター 講堂

講 師：NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 様

参加者：125名（オンライン受講含む）

③災害ボランティアセンター模擬訓練 ～災害ボランティア講座初・中級編～

日 時：令和3年12月19日（日）10時00分～15時00分

会 場：新発田市ボランティアセンター

講 師：NPO法人にいがた災害ボランティアネットワーク 李 仁鉄 様

参加者：33名

④災害ボランティア連絡会議 ～災害ボランティア講座上級編～（再掲）

日 時：令和3年10月3日（日）13時00分～15時00分

会 場：老人福祉センター金蘭荘

参加者：17名

2 ボランティアに関する交流及びネットワークづくり

①新発田市ボランティア連絡協議会

85団体及び個人ボランティア7名が加盟し、団体相互の連携、情報交換、交流及び協働での活動などを通じて、ボランティア活動の推進と地域福祉の向上に努めています。

②地域みまもり隊の集い

期 日：令和4年3月26日（土）

備 考：「ボランティアフェスティバル」「ふくしの集い」と併催

③ふくしの集い

期 日：令和4年3月26日（土）

備 考：「ボランティアフェスティバル」「地域みまもり隊の集い」と併催

（2）第32回ボランティアフェスティバル **〈 P15 〉**

「ふくしの集い」「地域みまもり隊の集い」と併催

期 日：令和4年3月26日（土）

備 考：令和3年10月9日（土）に予定していましたがボランティアフェスティバルは、新型コロナウイルス感染症の拡大予防の観点から従来の形式での開催は中止し、ボランティア団体の皆さんの協力をいただき団体紹介動画を作成。会場で作成した動画を上映し、普段の活動を紹介することで日々の活動の励みになるとともに、お互いの活動を理解・共有することで新しいつながりづくりが生まれる事等を期待して開催しました。

(3) 24時間テレビチャリティー（日本テレビ・全国社協との協力事業）

期 日：令和3年8月21日（土）～22日（日）

会 場：街頭での活動は中止し、ボランティアセンターとイオン新発田店様に募金箱を設置して募金を受け付けました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
募金実績額	377,376円	195,014円	43,625円

(4) 各種ボランティア講座の開催 〈 P12 〉

・おためしボランティア2021

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講延人数	25人	33人	24人

【全5講座（各講座定員30名）】

①点訳体験講座（受講者8人）

期 日：令和4年6月25日

講 師：新発田点訳奉仕団まどかグループ

②拡大写本体験講座（受講者6人）

期 日：令和4年7月2日

講 師：拡大写本「結の会」

③音声訳体験講座（受講者4人）

期 日：令和4年7月3日（土）

講 師：音声訳 むぎの会

④手話体験講座（受講者4人）

期 日：令和4年7月8日（木）

講 師：手話サークル 木の芽の会

⑤要約筆記体験講座（受講者2人）

期 日：令和4年7月10日（土）

講 師：要約筆記サークル四季

(5) 見守り・支え合いの「ながら活動」の推進

平成28年度からスタートした「地域みまもり隊」では、日常生活・活動を送りながら行う“ながら活動”として民生・児童委員や自治会連合会をはじめ、市民の皆様がこの活動の趣旨を説明してきました。

令和3年度においても、コロナ禍により思うような活動ができない中でも新規に加入をいただきました。

この活動で得られた“気づき”課題解決に向けて当会が繋ぐ役割を果たしています。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
団 体	165団体 1,787人	164団体 1,841人	169団体 1,760人
個 人	122世帯 139人、3匹	125世帯 142人、3匹	130世帯 152人 3匹

- 地域みまもり隊の集い 2021

「ボランティアフェスティバル」「ふくしの集い」と併催

期 日：令和4年3月26日（土）

5 在宅福祉サービス事業の推進

高齢者をはじめ障がい者が在宅で安心して生活できるよう、当事者や地域のニーズに合ったサービスが提供できるように努めました。

(1) 在宅高齢者給食サービス事業 〈 P146 〉

- 新発田市給食ボランティアグループ（新発田・豊浦地区）

- ・実施回数 40回
- ・調理ボランティア延べ 368人 ・運転ボランティア延べ 370人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配食数（延べ）	2,637食	1,900食	2,167食

- ボランティア紫雲寺友の会（紫雲寺・加治川地区）

- ・実施回数 43回
- ・調理ボランティア延べ 247人 ・運転ボランティア延べ 127人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
配食数（延べ）	316食	277食	407食

(2) 新発田中央地域包括支援センター 〈 P142 〉

高齢者の多様なニーズや相談を総合的に受け止め、尊厳ある生活の継続のために地域の中に積極的に入って問題の発見に努め、保健・福祉・医療の専門職や民生委員、ボランティア等地域福祉を支える様々な関係者と連携を創り、ネットワークの構築を図り、地域において総合的なマネジメントを実施し、高齢者が住み慣れた地域で自立した生活ができるように支援しました。

- 介護予防支援業務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
予防給付件数	2,769件	2,977件	2,781件
介護予防ケアマネジメントA	1,688件	1,441件	1,255件
介護予防ケアマネジメントB	88件	119件	150件

- 包括的支援業務

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
総合相談件数（実／延）	3,160件 /4,384件	3,128件 /4,443件	3,486件 /5,097件
権利擁護事業件数（実／延）	39件/256件	51件/533件	39件/483件
住宅改修支援件数（実）	16件	9件	6件

- 地域ケア会議の開催

令和3年度には、地域ケア会議問題解決型を12回開催し、それぞれの課題解決に取り組みました。

(3) 生活応援団 〈 P6 〉

「手助けが必要な人に手助けできる人がお手伝いする」という趣旨のもと、「ちょっと誰かに手を貸してもらいたい」という地域の個別ニーズに応え、地域の支え合い、助け合いの担い手として活動する会員相互の助け合い活動を展開しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
提供会員数	44人	34人	40人
利用会員数	167人	184人	82人
活動件数	1,006件	907件	845件

6 障がい児・者福祉の推進

障がい児・者が地域において安心して暮らすことができるように、また、障がいの程度や障がいの特性に応じたサービス・相談支援に努めました。

(1) 障がい福祉サービス事業の展開 〈 P107 〉

心身の障がいのため日常生活を営むのに支障のある方等にホームヘルプサービスや移動支援事業を実施しガイドヘルプサービスを提供しました。

- 新発田市社協居宅介護等事業所（居宅介護 ホームヘルプ） 〈 P107 〉

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣世帯数	9世帯	8世帯	7世帯
派遣延時間数(身体)	653時間	544時間	551.5時間
派遣延時間数(家事)	536時間	455.5時間	398時間
派遣延回数	1,062回	782回	731回

- 移動支援（ガイドヘルプサービス）事業 〈 P110 〉

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣件数	528件	502件	402件
派遣時間数	995時間	875.5時間	796.5時間
利用契約者数	25人	24人	20人
ヘルパー人数	9人	8人	6人

(2) 意思疎通支援事業の受託運営 〈 P113 〉

- 声の広報発行事業

協力団体 : 音声訳「むぎの会」

利用登録者数 : 17名

- 利用状況 : ・広報しばた (毎月 1日、15日)
 ・しばた社協だより (毎月15日)
 ・健康かいはつ (6、12月)
 ・議会報 (4、7、10、1月)
 ・新聞コラム (月3回)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
発行数	78	78	59

● 手話奉仕員養成事業

「手話奉仕員養成講座（入門課程）」を開催

- ・期 日：令和3年11月17日～12月26日 全12回
- ・会 場：新発田市ボランティアセンター
- ・講 師：8人（聴覚障がい者講師4人）

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
受講者数	10人	10人	6人

● 手話奉仕員派遣事業

・手話奉仕員派遣事業運営状況

- ・手話奉仕員数 33人
- ・派遣人数 174人
- ・派遣時間数 352時間34分

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣件数	124件	98件	121件

● 要約筆記奉仕員派遣事業

・要約筆記奉仕員派遣事業運営状況

- ・要約筆記奉仕員数 16人
- ・派遣人数 17人
- ・派遣時間数 87時間20分

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
派遣件数	5件	1件	4件

(3) 福祉有償運送事業（リフトカーの運行） 〈 P59 〉

歩行困難な障がい者等の福祉の増進と社会参加を図るため、運転ボランティアの協力により、リフトカー「あやめ号」を運行しました。

- ・利用登録者数 28人
- ・運転ボランティア登録者数 8人

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
運行件数	211件	199件	372件

(4) 複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業 〈 P122 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

- 放課後等デイサービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延利用者数	2,557人	2,750人	2,427人

7 **生きがい事業の推進**

高齢者が健康で生きがいを持って生活できるよう受託運営を行ってきました「眺海荘」「さくら苑」「ほうづきの里」の3施設については令和2年度末をもって事業が終了し、閉館となりました。

福祉センターについては、令和3年度からは「老人福祉センター 金蘭荘」のみの運営となり、引き続き種々の活動を通じ、利用者の生きがいの増進が図られるよう努めました。また、市から委託された敬老会についても、コロナ過の中一堂に会しての祝宴の開催が中止となり令和2年度に引き続き祝い品の配布の形での開催となりました。

(1) 敬老会及び金婚祝い事業の受託運営 〈 P149 〉

- 敬老会の開催状況

対象者 75才以上

※米寿・白寿・新100歳の方には祝状と祝品を贈りました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
対象者	16,324人	16,238人	15,814人
地区開催出席者	3,619人 24地区	15,286人 記念品配布数	15,423人 記念品配布数
施設入所対象者	575人 施設	630人 記念品配布数	614人 記念品配布数

※新型コロナウイルスの感染拡大を受け、市内全ての祝宴を中止し、記念品を配布

- 金婚祝い事業

市内に在住の金婚を迎えられた夫婦に記念品を贈り金婚を祝いました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
件数	207組	146組	234組

(2) 福祉センター等管理運営事業

新型コロナウイルスの感染拡大により、利用人数や飲食総等の一部制限したことや、これまで利用していただいていた団体の利用が自粛されたことで、利用者数は大きく減少しています。

- 老人福祉センター「金蘭荘」 〈 P134 〉

開館日数 285日

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
利用者数	5,911人	3,319人	2,595人

● 地域のお茶の間「金蘭荘サロン」

季節ごとの行事を工夫しながら、仲間づくり・交流の場を提供します。

実施内容については、参加者が意見を出し合いながら活動を行います。

※令和3年度においては新型コロナウイルス感染予防のため、活動を休止しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
回数	44回	—	—
延参加者数	624人	—	—

(3) ふれあい・いきいきサロン活動 〈 P56 〉

少子高齢化社会が進む中、高齢者や障がい者、子育て中の母親など、世代・性別・文化の壁を越えて、いろいろな住民が住み慣れた場所でいつまでもいきいきと暮らせるように、自由に集える地域の交流の場づくりを進め、ご近所同志のつながりづくりや心と体の健康維持、情報交換が気軽にできるよう、地域のボランティアを中心に、おしゃべり会や昼食会、歌や踊りの鑑賞会を開催、地域住民の生きがいや社会参加などの充実を図りました。

また、社協の運営管理施設やレクリエーション用具を利用できるよう書類等整備し明示しました。加えて、ボランティア連絡協議会と連携を図り、ボランティアの講師を派遣できるよう整備しました。

● 地区別開催状況

地 区	サロン数
外ヶ輪	10
猿橋	2
御免町	5
二葉	6
住吉	2
東豊	4
五十公野	9
松浦	5
米倉	3
赤谷	2
川東	9
菅谷	8
加治	5

地 区	サロン数
佐々木	8
豊浦	15
紫雲寺	12
加治川	12

テーマ型サロン 男性介護者サロン ほっこり 子育てサークル なないろ プチオレンジカフェ きら☆喜楽こども食堂 みんなの食堂グループキッチン

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
開催サロン数	121箇所	121箇所	116箇所

8 子育て、若者支援事業

(1) 子育て支援事業（複合型福祉施設ほのぼの家族運営事業） 〈 P126 〉

子どもから高齢者まで誰もが利用できる複合型福祉施設として、子育て支援や障がい児の放課後支援、世代間交流事業の推進に努めました。

また、初めて赤ちゃんを育てているお母さんのための仲間づくり・親子の絆作り・育児についての情報交換・学びの場作り等を目的に、対象を生後2～5か月の第1子のお子さんとそのお母さんとしたBPプログラム（ベビープログラム）事業を3回実施し、初めての育児に対する不安の解消や仲間作りを推進しました。

● 地域子育て支援センター(子育て相談、プレイルーム)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延利用者数	6,058人	4,292人	3,394人

● 子どもデイサービス

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
延利用者数	157人	184人	200人

(2) 若者自立支援事業 〈 P80 〉

若者サポートステーション、ボランティア団体、他関連団体等と連携してボランティア活動を通じた社会的な居場所づくりや、就労意欲の向上に努めました。

「若者自立支援のための関係機関・団体情報交換会」については新型コロナウイルス感染予防のため中止としました。

● ボランティア体験

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
音声訳ボランティア むぎの会	13人	1人	0人
社協事業ボランティア	428人	573人	573人
団体へのボランティアコーディネート	2件	1件	0件

● 若者交流会・親のサロン

ひきこもり、ニート、不登校等生きづらさを抱え、社会と繋がるのが困難な若者が集い、日頃の思いを話し合ったり、情報交換を行うなどしてつながることへの第一歩となる場を運営しました。また、その親の不安解消、親同士の交流等を目的として親のサロンも同時に開催しました。

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
若者交流会 毎月 第1・3金曜	439人(年21回)	273人(年18回)	273人(年18回)
親のサロン 奇数月 第3金曜	23人(年5回)	20人(年5回)	17人(年4回)

9 **総合相談事業**

(1) 地区担当制の導入

地区福祉活動計画の策定済の地域に対して担当職員を配置し、継続的な支援・相談窓口として地域の支援を行いました。

(2) 総合相談会の実施

①高齢者とその家族を対象とした「あんしん相談会」については中止しました。

②孤立化による空家の増加を予防する多世代参加型プログラム開発事業に基づく総合相談会を2回開催しました。

相談会では将来のことについてや財産、相続等その内容に応じて各分野の専門家による適切なアドバイスを行いました。

① 令和3年5月30日

相談件数： 16件

相談者数： 23名

相談延べ数： 36件 ※相談1件で複数の内容あり

① 令和4年3月27日

申込件数： 21件

相談延べ数： 51件 ※相談1件で複数の内容あり

以上が令和3年度事業の概要ですが、資料については次ページ以下に掲載しました。

令和3年度事業報告【資料編】

○社会福祉協議会費地区別実績一覧

- ・令和3年度新発田市社会福祉協議会費 地区別実績一覧
- ・令和3年度日赤社費地区別実績一覧
- ・令和3年度共同募金戸別募金地区別実績一覧（一般募金）

○デイサービスセンター事業報告（収益及び利用者の推移 R01～02）

- ・北デイサービスセンター
- ・南デイサービスセンター
- ・豊浦デイサービスセンター
- ・加治川デイサービスセンター

○訪問介護事業報告（収益及び利用者の推移 R01～02）

- ・新発田市社協訪問介護事業所

○福祉センター等事業報告（利用料及び利用者の推移 R01～02）

- ・老人福祉センター金蘭荘

○令和2年度職員研修参加状況

令和3年度新発田市社会福祉協議会費 地区別実績一覧

○取りまとめ期間 令和3年7月上旬～8月中旬 一世帯あたり 400円

地区名	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,319	16,547	4,170,916	74.14 %	252
五十公野	1,766	1,712	466,130	96.94 %	272
松 浦	608	608	190,070	100.00 %	313
米 倉	347	347	119,250	100.00 %	344
赤 谷	171	171	64,800	100.00 %	379
川 東	1,304	1,268	420,447	97.24 %	332
菅 谷	808	808	273,900	100.00 %	339
加 治	1,107	1,107	288,140	100.00 %	260
佐々木	1,007	1,007	289,010	100.00 %	287
豊 浦	2,675	2,573	719,860	96.19 %	280
紫雲寺	2,015	1,992	736,350	98.86 %	370
加治川	1,769	1,741	626,050	96.94 %	360
合 計	35,923	29,881	8,364,923	83.2 %	259

令和3年度日赤社費地区別実績表

○取りまとめ期間 令和3年6月上旬～6月末日 一世帯あたり 500円

区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,319	10,099	5,050,736	45.3 %	500
五十公野	1,766	1,095	543,350	61.5 %	496
松 浦	608	412	207,460	68.2 %	504
米 倉	347	306	153,000	88.2 %	500
赤 谷	171	153	77,500	90.6 %	507
川 東	1,304	1,002	497,881	76.4 %	497
菅 谷	808	733	366,690	90.8 %	500
加 治	1,107	687	343,450	62.1 %	500
佐々木	1,007	734	370,260	73.5 %	504
豊 浦	2,675	1,437	719,300	53.8 %	501
紫雲寺	2,015	1,773	885,050	87.8 %	499
加治川	1,796	1,491	745,300	83.0 %	500
合 計	35,933	19,922	9,959,977	55.5 %	500

令和3年度 共同募金戸別募金地区別実績一覧 (一般募金)

○取りまとめ期間 令和3年10月上旬～10月末日 一世帯あたり 450円

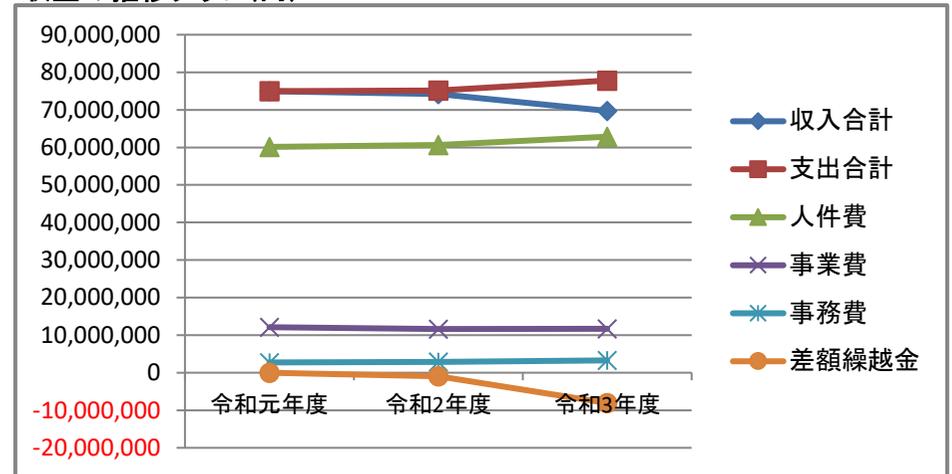
区分	世帯数	協力世帯数	実績額	協力世帯割合 (%)	一世帯あたり額
本 庁	22,338	16,897	4,571,469	75.64 %	271
五十公野	1,767	1,640	496,521	92.81 %	303
松 浦	606	537	207,550	88.61 %	386
米 倉	347	310	130,500	89.34 %	421
赤 谷	171	171	70,650	100.00 %	413
川 東	1,304	1,157	465,827	88.73 %	403
菅 谷	808	759	292,800	93.94 %	386
加 治	1,107	1,107	328,850	100.00 %	297
佐々木	1,007	809	333,550	80.34 %	401
豊 浦	2,675	2,526	740,684	94.43 %	293
紫雲寺	2,016	1,989	810,150	98.66 %	407
加治川	1,787	1,744	673,363	97.59 %	386
合 計	35,933	29,646	9,112,414	82.50 %	307

北デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入合計	74,965,454	74,203,196	69,727,180
支出合計	74,979,140	75,143,397	77,801,911
人件費	60,128,043	60,633,250	62,852,747
事業費	12,118,376	11,633,713	11,671,494
事務費	2,732,721	2,876,434	3,277,670
差額繰越金	-13,686	-940,201	-8,074,731

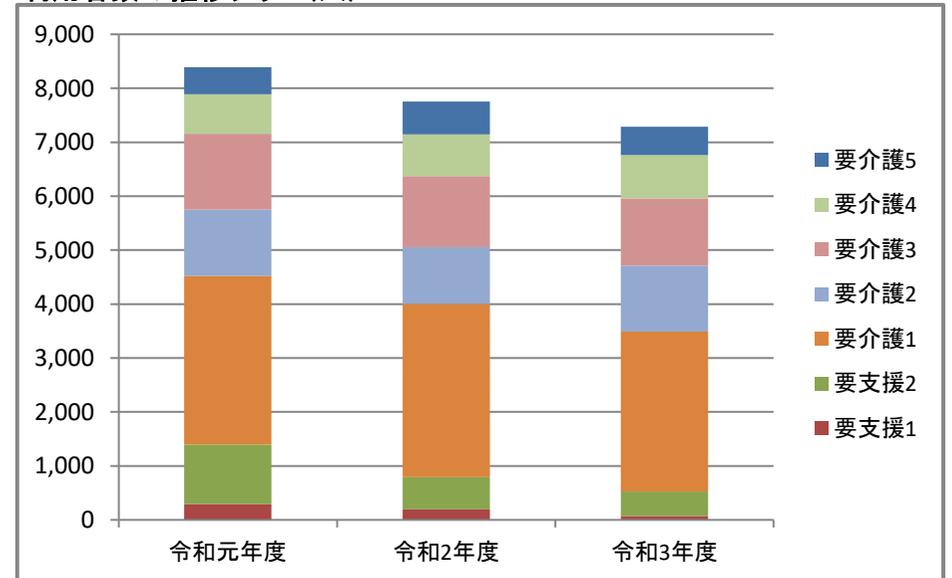
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要支援1	289	197	73
要支援2	1,105	595	451
要支援計	1,394	792	524
要介護1	3,129	3,212	2,968
要介護2	1,228	1,050	1,222
要介護3	1,409	1,317	1,247
要介護4	729	773	801
要介護5	500	607	524
要介護計	6,995	6,959	6,762
合計	8,389	7,751	7,286

利用者数の推移グラフ(人)

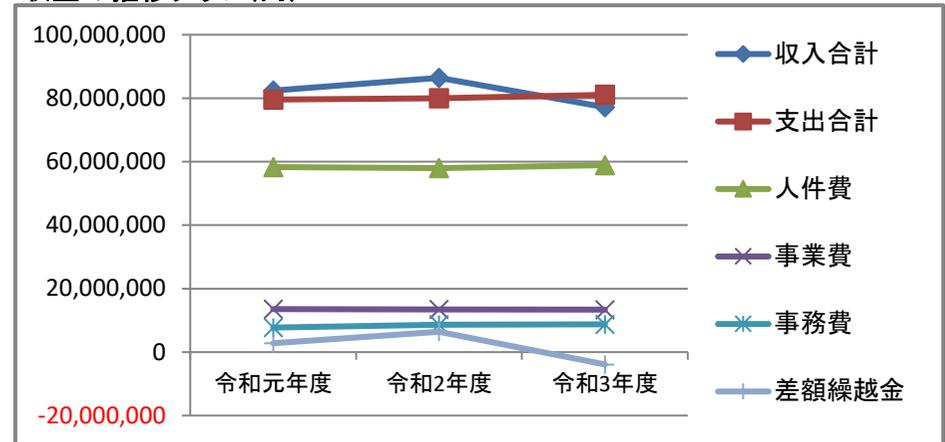


南デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入合計	82,351,903	86,422,469	77,188,408
支出合計	79,581,073	80,010,245	81,066,082
人件費	58,294,561	57,964,768	58,913,565
事業費	13,551,430	13,419,126	13,390,824
事務費	7,735,082	8,626,351	8,761,693
差額繰越金	2,770,830	6,412,224	-3,877,674

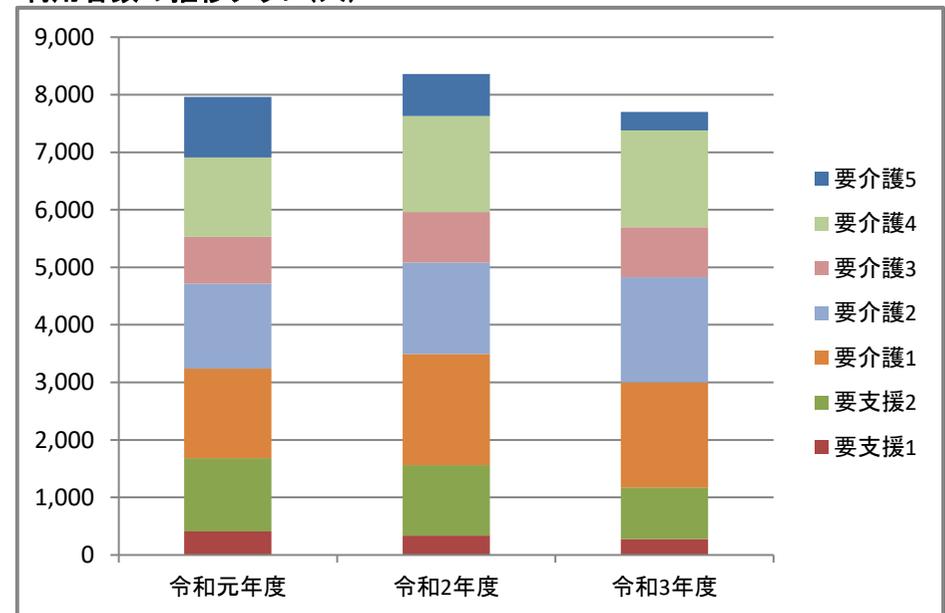
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要支援1	407	337	275
要支援2	1,274	1,225	896
要支援計	1,681	1,562	1,171
要介護1	1,558	1,934	1,827
要介護2	1,479	1,585	1,830
要介護3	815	884	871
要介護4	1,374	1,667	1,681
要介護5	1,055	730	323
要介護計	6,281	6,800	6,532
計	7,962	8,362	7,703
障がい	1,106	1,115	741
合計	9,068	9,477	8,444

利用者数の推移グラフ(人)

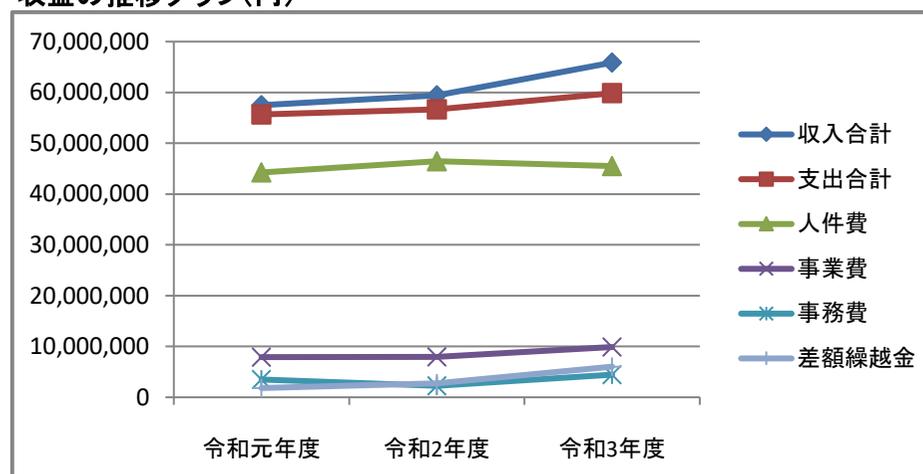


豊浦デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入合計	57,496,710	59,452,520	65,876,240
支出合計	55,673,603	56,696,899	59,845,703
人件費	44,243,706	46,461,920	45,495,437
事業費	7,908,812	7,975,173	9,899,492
事務費	3,521,085	2,259,806	4,450,774
差額繰越金	1,823,107	2,755,621	6,030,537

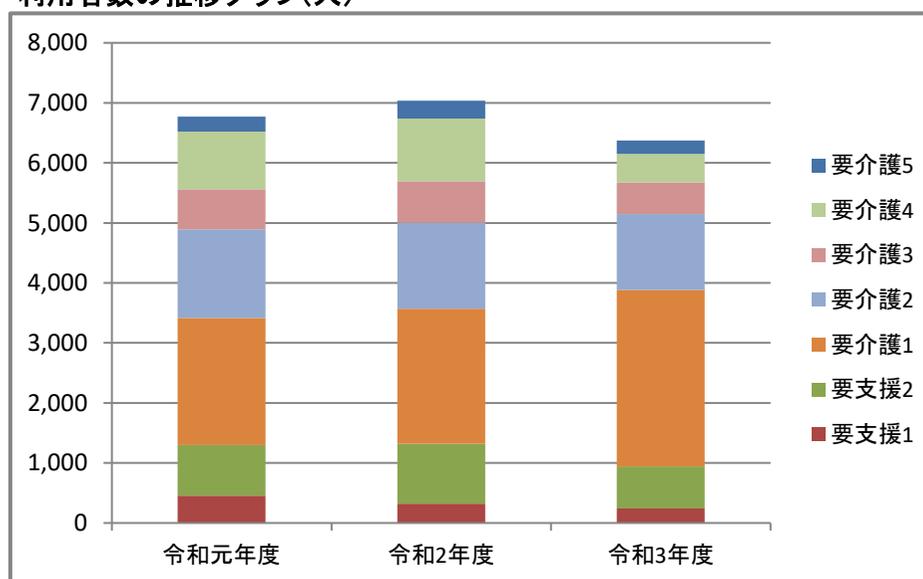
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要支援1	455	323	244
要支援2	843	999	697
要支援計	1,298	1,322	941
要介護1	2,117	2,248	2,943
要介護2	1,476	1,431	1,261
要介護3	672	690	525
要介護4	956	1,046	480
要介護5	251	301	222
要介護計	5,472	5,716	5,431
合計	6,770	7,038	6,372

利用者数の推移グラフ(人)

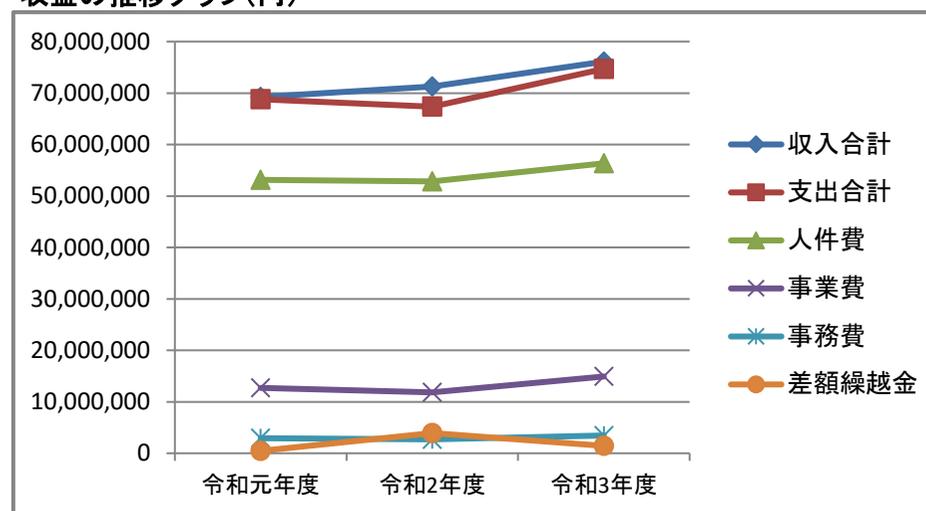


加治川デイサービスセンター事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入合計	69,243,089	71,279,671	76,114,467
支出合計	68,781,728	67,359,340	74,706,572
人件費	53,155,459	52,831,268	56,349,923
事業費	12,718,683	11,827,792	14,914,538
事務費	2,907,586	2,700,280	3,442,111
差額繰越金	461,361	3,920,331	1,407,895

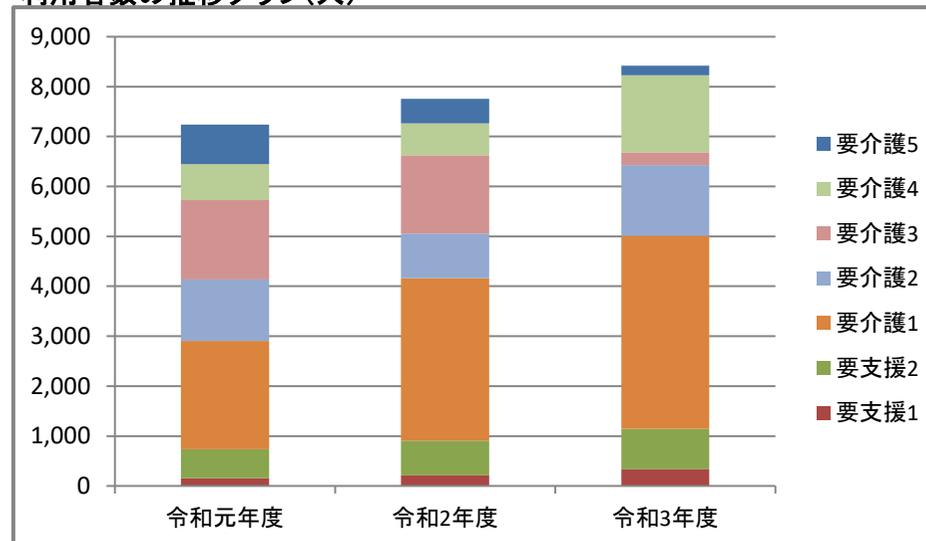
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要支援1	156	214	334
要支援2	577	693	808
要支援計	733	907	1,142
要介護1	2,175	3,256	3,872
要介護2	1,226	895	1,416
要介護3	1,590	1,569	256
要介護4	725	636	1,541
要介護5	787	494	194
要介護計	6,503	6,850	7,279
合計	7,236	7,757	8,421

利用者数の推移グラフ(人)

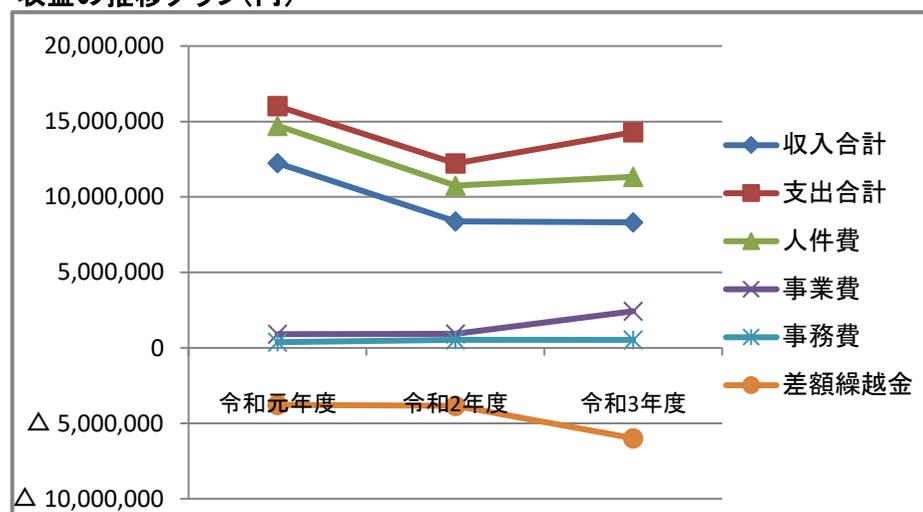


新発田市社協訪問介護事業事業報告書

収益の推移(事業活動収支) (円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
収入合計	12,240,830	8,390,030	8,319,075
支出合計	16,016,620	12,223,153	14,302,085
人件費	14,723,887	10,755,373	11,342,441
事業費	912,445	930,520	2,432,859
事務費	380,288	537,260	526,785
差額繰越金	-3,775,790	-3,833,123	-5,983,010

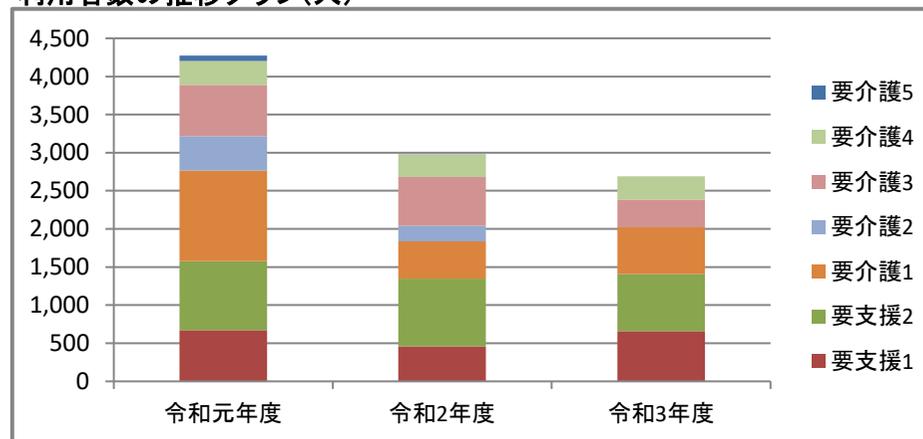
収益の推移グラフ(円)



利用者数の推移 (人)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度
要支援1	672	460	661
要支援2	906	887	748
要支援計	1,578	1,347	1,409
要介護1	1,188	489	613
要介護2	450	207	0
要介護3	672	640	365
要介護4	316	291	302
要介護5	69	1	0
要介護計	2,695	1,628	1,280
合計	4,273	2,975	2,689

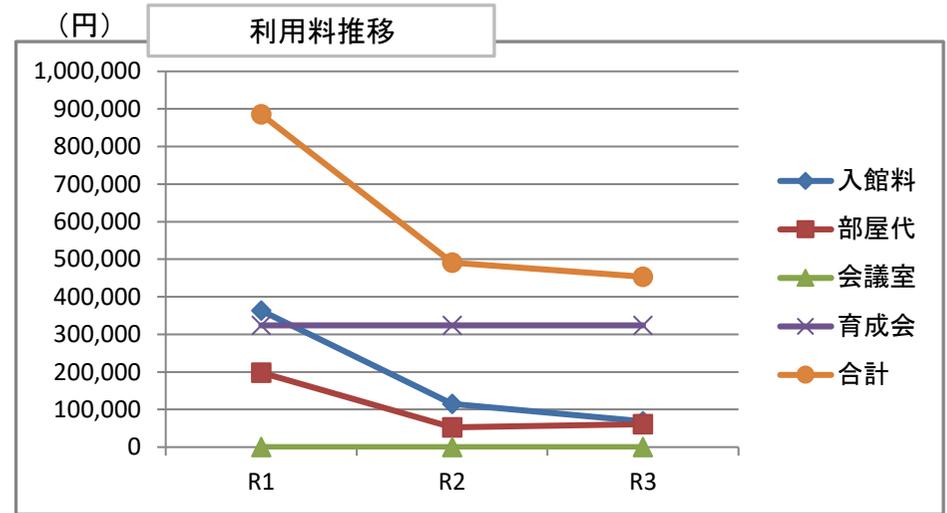
利用者数の推移グラフ(人)



老人福祉センター「金蘭荘」

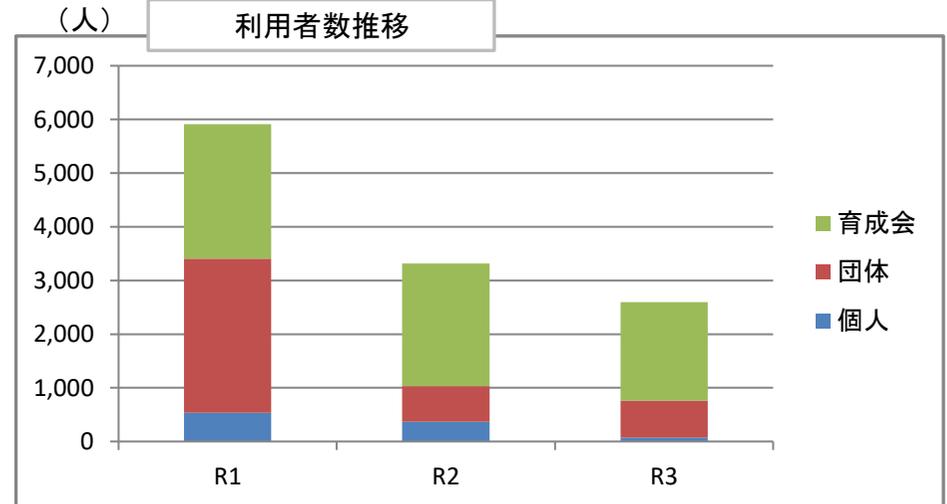
(円)

利用料の推移			
	R1	R2	R3
入館料	363,300	114,600	68,660
部屋代	198,400	52,600	60,800
会議室	0	0	0
育成会	324,000	324,000	324,000
合計	885,700	491,200	453,460



(人)

利用者の推移			
	R1	R2	R3
個人	535	365	76
団体	2,872	669	687
育成会	2,504	2,285	1,832
合計	5,911	3,319	2,595



開館日数			
	R1	R2	R3
開館日数	266	263	263

令和3年度職員研修会等参加状況

テーマ別研修・専門研修(事務局)

月 日	実施場所	研修の名称	参加人数
4月27日	ボランティアセンター	令和3年度第1回県北地域社協災害ボランティア担当者会議	1
6月4日	ボランティアセンター	令和3年度成年後見制度担当者研修	1
6月9日	ほのぼの家族Zoom	令和3年度新潟県障害福祉関係施設長会議	1
6月10日	生涯学習センター	新発田青年会議所防災研修会	2
6月18日	阿賀野市笹神支所	農福連携推進現地研修会	1
6月23日	ボランティアセンター	日常生活自立支援事業専門員研修Ⅰ「基礎・ベーシック編」	1
7月8日	ボランティアセンター	第57回関東ブロック郡市区町村社協職員合同研究協議会(神奈川県)	3
7月14日	ボランティアセンター	令和3年度成年後見制度法人後見推進研修会	1
7月15日	ボランティアセンター	新潟県土木部職員研修【官民連携の空き家対策】	3
7月19日	健康長寿アクティブ交流センター	令和3年度新発田市地域包括支援センター職員等研修会	1
7月27日	聖籠町文化会館	安全運転管理者講習	1
7月26日	ボランティアセンター	地域における権利擁護体制の推進検討委員会	1
8月18日	ボランティアセンター	令和3年度法人後見実施団体等による意見交換会	2
9月6日	ボランティアセンター	令和3年度 全国福祉教育推進員研修	1
9月23日	万代島多目的広場	新潟県防災コンファレンス	1
10月6日	生涯学習センター	同和問題研修会	1
10月12日～13日	新潟ユニゾンプラザ	令和3年度キャリアパス福祉職員チームリーダーコース	1
10月13日	新潟ユニゾンプラザ	第1回”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	1
10月14日	生涯学習センター	地域づくり人材養成研修	1
10月16日	新発田市隣保館	部落解放研究集会	2
10月20日	ほのぼの家族Zoom	児童発達支援管理責任者実践研修	1
10月21日	ボランティアセンター	仙台市若林区社協Zoom意見交換会	4
10月22日	ボランティアセンター	第16回権利擁護・虐待防止セミナー	1
11月2日	ボランティアセンター	除雪ボラ支援に関する研修会	1
11月5日	アトリウム長岡	令和3年度 福祉教育推進セミナー	1
11月13日	自宅Zoom	令和3年度生活困窮者自立支援全国研究交流大会	1
11月15日	新潟ユニゾンプラザ	広報研修	1
11月19日	ボランティアセンター	令和3年度北関東・信越ブロック協議会セミナー	2
11月19日	新潟ユニゾンプラザ	令和3年度 新潟県福祉教育推進会議	1
11月21日	自宅Zoom	令和3年度生活困窮者自立支援全国研究交流大会	1
11月24日	ボランティアセンター	令和3年度第2回県北地域社協災害ボランティア担当者会議	1
11月27日	自宅Zoom	令和3年度生活困窮者自立支援全国研究交流大会	1
12月1日	新潟ユニゾンプラザ	第2回”ひきこもり”支援をテーマにした市町村社協担当職員による緩やかなネットワーク会議	1
12月2日	ボランティアセンター	全国ひきこもり支援者オンライン研修会	1
12月14日	ボランティアセンター	日常生活自立支援事業専門員研修Ⅱ「スキルアップ編」	3
1月5日	ボランティアセンター	全国ひきこもり支援者オンライン研修会	1
1月12日	ボランティアセンター	地域における権利擁護体制の推進検討委員会	1
1月13日	ほのぼの家族	虐待防止委員会立ち上げに係る研修	10
1月14日	ボランティアセンター	2021年度第15回KHJ全国大会 伝達研修	1
1月15日	市役所本庁舎	災害図上訓練DIG	2
1月17日	ボランティアセンター	令和3年度第1回自殺危機介入スキルアップ研修会	1
1月18日	ボランティアセンター	新潟県ひきこもり支援者オンライン研修会	1
1月27日	生涯学習センター	自立支援協議会	1

1月31日	ボランティアセンター	令和3年度第1回日常生活自立支援事業契約締結審査会	1
1月31日	ボランティアセンター	令和3年度 第2回新潟県福祉教育推進会議	1
2月2日	ボランティアセンター	令和3年度法人後見専門員スキルアップ研修会	1
2月3日	訪問介護事業所	虐待防止委員会立ち上げに係る研修	7
2月4日	ボランティアセンター	家事関係機関と家庭裁判所との連絡協議会	2
2月5日	ボランティアセンター	ばあとなあ新潟下越地区研修会	2
2月9日	ボランティアセンター	令和3年度第2回自殺危機介入スキルアップ研修会	1
2月10日	ボランティアセンター	令和3年度中核機関権利擁護センター推進研修会	2
2月15日	ボランティアセンター	新潟医療福祉大学 社会福祉相談援助実習報告会	1
3月1日	ほのぼの家族Zoom	令和3年度新潟県障害者虐待防止・権利擁護研修	1
3月8日	ボランティアセンター	令和3年度地域共生社会実現に向けた「重層的支援体制整備事業」学習会	2

テーマ別研修・専門研修(各事業所)

4月30日	ボランティアセンター	令和3年度新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会総会	1
5月11日	しばた社協居宅	ケアマネジメント事例検討会	1
5月25日	ボランティアセンター	新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1
6月3日	しばた社協居宅	令和3年度第1回神経難病セミナー	4
4/20,27, 5/12,13,18,19, 6/9,10	朱鷺メッセ	令和3年度新潟県主任介護支援専門員更新研修	1
6月16日	中央地域包括支援センター	令和3年度第1回 主任介護支援専門員フォローアップ研修	2
6月16, 17日	中央地域包括支援センター	豊浦愛広苑通所リハビリ、とよら訪問看護ステーション 説明会	1
6月18日	南デイサービス	令和3年度給食施設における非常災害対策・感染症対策 研修会	1
6月24日	中央地域包括支援センター	脳梗塞リハビリセンター新潟説明会	2
6月25日	中央地域包括支援センター	「介護予防・生活支援サービス強化支援事業」報告会	1
6月28日	中央地域包括支援センター	生活支援コーディネーター・認知症地域支援推進員・地域包括支援センター職員合同研修	1
6月29日	しばた社協居宅	介護予防・自立支援型地域ケア会議に伴う研修会	5
7月1日	しばた社協居宅	令和3年度第2回 神経難病セミナー	2
7月7日	しばた社協居宅	令和3年度新発田病院地域学習会(第1回)	2
7/8,7,12, 8/5,17	新潟市 朱鷺メッセ	令和3年度新潟県介護支援専門員「更新・専門研修」	1
7月20日	中央地域包括支援センター	令和3年度ケアプランチェック研修	2
8月3日	ボランティアセンター	法テラス研修	1
8月20日	ボランティアセンター	令和3年度第2回主任介護支援専門員フォローアップ研修	3
8月20日	中央地域包括支援センター	令和3年度新潟県認知症初期集中支援推進事業研修会	1
8月25日	中央地域包括支援センター	令和3年度第1回要介護認定申請窓口担当者研修会	1
9月1日	ボランティアセンター	令和3年度第2回地域学習会	7
9月1日～2日	中央地域包括支援センター	いきがい・助け合いサミットin神奈川	1
9月8日	中央地域包括支援センター	令和3年度新潟県チームオレンジコーディネーター研修	1
9月15日	中央地域包括支援センター	令和3年度成年後見制度市町村長申立推進研修会	1
9月16日	しばた社協居宅	令和3年度第3回 在宅ケア関係者のための神経難病セミナー	2
9月24日	しばた社協居宅	令和3年度新発田市主任介護支援専門員研修会	1
10月5日	ボランティアセンター中央包括北デイサービス南デイサービス	新潟県企業の女性活躍を加速するダイバーシティ・マネジメント研修	5
10月15日	健康長寿アクティブ交流センター	新発田市2歳児保育料無料化に関する説明会	1
10月15日	しばた社協居宅	令和3年度介護認定審査会委員現任研修	1
10月21日	中央地域包括支援センター	令和3年度在宅あるあるミニレクチャー～医師編～	2
10月25日	しばた社協居宅	令和3年度病院機能勉強会 新潟県立リウマチセンター	2
11月4日	しばた社協居宅	令和3年度第4回 神経難病セミナー	1
11月5日	しばた社協居宅	令和3年度介護予防ケアマネジメント研修会	2

11月8日	中央地域包括支援センター	令和3年度企画研修 第5回研修会 ～困難事例 解決の手がかり～	1
11月11日	南デイサービスセンター	令和3年度つなぐ会看看連携	1
11月12日	しばた社協居宅	新発田地区居宅介護支援事業者連絡協議会 研修	2
11月16日	中央地域包括支援センター	令和3年度神経難病リハビリセミナー	1
11月15・16日	新潟ユニゾンプラザ	令和3年度福祉職員キャリアパス対応生涯研修（中堅職員コース）	2
11月8～23日	新発田北デイサービスセンター	新型コロナウイルス感染症防止対策研修通所サービスにおける感染対策	15
11月25日	しばた社協居宅他	令和3年度認知症ケア研修会	4
11月30日	新発田市民文化会館 大ホール	介護予防講演会 今日からあなたもできるフレイル予防の生活習慣	1
12月1日	しばた社協居宅 他	令和3年度地域学習会	2
12月15日	ボランティアセンター・しばた社協居宅	令和3年度認知症多職種協働研修	3
12月15日	中央地域包括支援センター	令和3年度第2回要介護認定申請窓口担当者研修会	1
12月19日	新発田市役所	第2回新潟県リハビリテーション専門職協議会研修会	2
12月7.14.21.22.24日	朱鷺メッセ	令和3年度新潟県介護支援専門員 専門研修過程Ⅱ	2
12月20日	ボランティアセンター	令和3年度第3回 在宅あるあるミニレクチャー	1
1月8日	北デイサービスセンター	新潟県社会福祉協議会リスクマネジメント研修	1
1月23日	北デイサービスセンター	新潟県社会福祉協議会リスクマネジメント研修	1
1月25日	北デイサービスセンター	新潟県社会福祉協議会リスクマネジメント研修	1
2月3日	しばた社協居宅	令和3年度第5回神経難病セミナー	2
2月7日	中央地域包括支援センター	令和3年度成年後見制度研修	1
2月8日	しばた社協居宅	令和3年度成年後見制度研修	1
2月9日	中央地域包括支援センター	令和3年度自殺危機介入スキルアップ研修会	1
2月14日	中央地域包括支援センター	令和3年度新潟県地域包括ケアシステム推進研修	1
2月16日	南デイサービスセンター	令和3年度こころのゲートキーパー養成研修	1
2月17日	南デイサービスセンター 中央地域包括支援センター	令和3年度下越圏域障害福祉と高齢福祉の相互理解を深める研修会	2
3月3日	中央地域包括支援センター	令和3年度新発田市地域包括支援センター職員等研修	1
3月2日	訪問介護事業所	令和3年度訪問介護事業所集団指導	1
3月8日	しばた社協居宅 中央地域包括支援センター	令和3年度介護保険サービス事業所	2
3月7日	北デイサービスセンター	令和3年度通所介護事業所集団指導	1
3月10日	ボランティアセンター	第2回新発田市成年後見センター支援者向け研修会及び連絡会	1
3月23日	中央地域包括支援センター	介護予防マニュアル第4版 普及啓発セミナー	1